

広島県中小企業団体中央会 2019年8月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

商品のマンネリ化に伴い売上の減少、景況感が悪化している。
地方発送のある組合員は運賃負担により、収益を圧迫している。

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比24.8%減少、前年同月比9.1%減少となり、売上高は前月比23.1%減少、前年同月比11.3%減少となった。

(繊維・同製品)

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

空調服の売上が前年比減少している。

(木材・木製品)

●木材・木製品

福山木材協同組合

9月は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が期待出来そうである。しかし、その後は不透明である。

広島県北部国産材加工協同組合

雨により丸太の出荷が減少したため、桧の価格は強基調となっている。
輸出用梱包材の落ち込みは激しいが、国内流通用は堅調に推移している。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和元年7月の全国の住宅着工戸数は79,232戸で前年同月比4.1%減少
- ・季節調整済年率換算値では91.0万戸(前月比1.3%減少)
- ・利用関係別では、持家は26,282戸で前年同月比3.3%増加、貸家は30,383戸で前年同月比15.2%減少
- ・分譲住宅は21,942戸で前年同月比5.1%増加
- ・木造住宅着工は46,344戸で前年同月比1.3%減少
- ・住宅着工の動向については、借家の減少幅が拡大傾向で、1月からの総戸数累計も下押しに転じている

<広島>

- ・広島県内の7月の着工戸数は1,570戸で前年比3.5%減少、このうち持家は487戸で2.0%減少、貸家は415戸で29.5%減少、分譲は638戸で18.4%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月振りの減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数628戸で16.6%減少、東広島市が91戸で19.5%減少、廿日市市は62戸で1.6%減少の一方、福山市は303戸で21.2%増加、呉市124戸で264.7%増加、尾道市は55戸で27.9%増加と地域別でばらつきが見られる。高水準の分譲系住宅や、工事の平準化傾向でプレカット工場の稼働は依然好調であり、繁忙感も高まり構造材の荷動きは堅調を維持している。しかし、消費税率引上げ前の駆け込み需要も期待薄で、米中貿易摩擦等により輸出に急ブレーキがかかり物流梱包需要が振るわないなどの不安材料もあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(印刷)

出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

印刷業界では秋にセミナー、フォーラムなどのイベントが集中する。大いに刺激し合い、業界の活性化に寄与したいと願う。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

第3、第4四半期にかけて生産量は前年比減少となる見込みである。複雑な仕様を求められ、製造側の負担も大きい、それを受け入れていかなければ会社としての存続が危うい。付加価値を利益に変えようにも、エンドユーザーへの販売価格は安価になる傾向にあり、行き着くところは原価低減及び業務体質やプロセス改善である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連は、生産台数の減少により、売上が減少している。全体的に売上は現状を維持している。今年是不安定要素が多く、先行きが懸念される。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

元年8月 2,530m³ (前年比4.85%増加)

元年7月 3,181m³

30年8月 2,413m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

組合員が1社、9月に入り倒産した。

例年この時期に行っている安全衛生の講習会を9月中旬に開催しようと案内をしたが、集客率が悪い。新卒を含め、入社が少ないことが要因ではないかと思われる。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比35.7%減少となったが、出荷時期の変更等による売上計上のタイミングによるものであり、大きな問題はない。前年同月比2.4%増加でほぼ前年並みである。

来年度の売上に繋がる現在の受注状況は低調に推移しており、今後の動向を注視している。

出島工業会協同組合

組合員企業の動向については、特に大きな変化はない。

組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月は先月に比べて稼働日数が減少したため前月比10.0%減少、輸出の受注が低迷しているため前年同月比14.5%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の下記業況に比例している。

・8月の国内自動車販売台数は全需が389千台、前年同月比6.7%増加と2ヶ月連続の前年超え。登録車は前年同月比4.0%増加と2ヶ月連続の前年超え、軽自動車は前年同月比で11.5%増加と3ヶ月振りの前年超え。

マツダ車は6.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・アメリカの7月の全需は1,396千台で前年同月比1.5%増加と6ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同3.5%減少と13ヶ月連続の前年割れ

・欧州の7月の全需は1,477千台で、前年同月比1.0%減少と11ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同3.1%減少と2ヶ月振りの前年超え

・中国の7月の全需は2,094千台で、前年同月比10.9%増加。マツダ車は同17.2%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は106千台、前年同月比5.1%減少と11ヶ月連続の前年割れ

・マツダの7月の輸出動向については、輸出台数は前年比45.5%増加と2ヶ月振りの前年超え

・マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比53.0%増加と2ヶ月振りの前年超え

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

昨年度の中国地方 (山口県西部を除く中国地方5県) の新造船受注量は92隻、1,270総トン (対前年度比8.5%増加) となった。新造船建造量は108隻、3613千総トン (対前年比7.3%増加) で平成31年3月末の新造船手持ち工事量は202隻、6,790千総トン (対前年度比24.9%減少) となった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と特に大きな変化はない。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

全体としては、大型連休以降、停滞感があり、米中貿易摩擦や消費税率引上げ等の悪いニュースが重なり、停滞感が続いている。

「資材関連」においては、資材の値上がり分を販売先に転嫁できない状況にある。同業者の淘汰が進まず依然過当競争の状態である。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請を得意先に価格転嫁するためにはタイムラグも

必要であり、苦戦している。

「食品」においては、夏場は売上が低迷。物流コスト上昇の影響もあり業績は引き続き厳しい。

「繊維」においては、夏物商品は天候不順もあり不調。収益環境は引き続き厳しい。消費税率引き上げへの対応は各社十分とはいえない。

近隣の商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇。人手不足感も継続している。また、街中と比べて立地条件が悪く人手確保が難しい。

・売上等の各項目は一進一退で大きな変化はない。人件費、配送、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

協同組合福山卸センター

梅雨明けの遅延、米中貿易対応、日韓関係の悪化、消費税率引上げなど経済の先行き不安材料が需要の停滞を引き起こしている。

卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の6月の着工状況は前年比64.1%増加。内訳としては、持ち家28.6%増加、分譲191.9%増加、貸家26.6%増加となった。

6月は全ての指標において大幅な増加となった。今後、蛍光灯の生産終了、水銀灯の製造中止等の需要が見込まれる。

卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月の売上は前年比増加となり、消費税率引上げの駆け込み需要が影響していると思われる。

卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、秋の展示会も活発に行われるなど堅調に推移している。販売取扱量も増加傾向にあり、販売価格も安定している。新草の畳表が今後出回るものと見ている。今は前年産の畳表が主流である。さらに、国産の化学畳表（パルプ）も堅調に推移している。

一方、中国産のい草は受給バランスをとりながらの製織、販売で市場を見極めながらの輸出入の状況である。価格の変動を嫌うことから調整しているものと見ている。取扱量では、消費税率引き上げの影響から価格は横並びになるも販売量は確実に増加している。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

鮮魚：下旬の天候不順による商材不足はあったものの、1ヵ月全体としては特に大きな変化はなかった。

青果：前年より入荷が多いが消費が伸びず、前月から相場安が続いている。果実は中元商戦の需要が売上増加の一因となっている。

消費税率引上げを控え、消費者の財布のひもは固く、売上に影響している。

協同組合三次ショッピングセンター

人手不足は解消されず、満足な営業活動が出来ていない。

消費税率引上げはさらに業績を悪化させることが予想され、不安要素が絶えない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比13.4%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.6%減少、冷蔵庫同9.6%減少、洗濯機同1.0%減少、IHクッキングヒーター同19.1%減少、電気温水器同41.6%減少、エアコン同25.8%減少となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

今月は仕入価格の変動が少なく、市況変動も少なかった。

雨が多かったせいか、販売量の落ち込みは大きく、厳しい状況が続いている。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

売上は前年比増加となった。これは、平成30年7月豪雨の落ち込みによる売上不振によるものである。

呉本通商店街振興組合

3日に呉中央地区商店街合同の土曜夜市(2日目)が開催され、多くの参加者で賑わった。

今月は、昨年2月に開店したメロンパン専門店が売上不振により閉店した。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比21.5%減少、前年比2.2%増加

車検場収入は、前月比21.0%減少、前年比2.2%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比26.2%減少、前年比6.1%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

取引先のコスト削減に伴い、受注が減少している。
運賃、送料の値上げが収益を圧迫している。
組合員の廃業や脱退が増加している。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

(建設業)

●工事業

広島市指定上下水道工事業協同組合

工事の受注件数が減少している。

福山地区電気工事業協同組合

今月の受付件数は280件と今年度に入り、初めて減少した。内訳としては、新築比率、電化比率は増加しているが、リフォーム、容量変更等の件数が大きく減少したため、全体の件数が減少している。今後消費税率引上げ前の駆け込み需要が出てくるのか不安である。

依然作業員不足は解消しておらず、益々深刻化している。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、今月は前月比23.1%減少、前年同月比34.7%減少、前年累計比3.9%増加となった。今月は壁装が若干盛り返したが、カーテン、敷物が鈍化した。月替わりで好不調を繰り返しており、安定していない。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

8月は稼働日数が少ない上に荷動きが悪く売上は減少したが、長年取り組んできた輸送効率化の成果により収益は改善した。

「働き方改革」に対応するため運賃値上げ交渉を行っているが、荷動きの悪さは運賃交渉にマイナスに作用している。

松永地区トラック事業協同組合

8月の売上高、収益状況は前月比、前年比ともに減少した。GW以降売上は対前年比が連続して減少しており、収益も連動して減少している。軽油価格は安定しているとはいえ、高止まりの状態であるため収益に直接影響を与えている。

消費税率引上げに向けて需要が増加することを期待しているが、単月に集中しても車両台数や人員確保等の問題もある。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

今月は稼働日数の減少により前半の荷動きが悪かった。しかし中旬以降は例年並みに推移した。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比ともに大きな変化はない。

9月から固定資産税標準宅地評価及び国交省の地価公示評価作業が本格的に始まる。

地価は依然として平地の利便性の高い地域と山間傾斜地で価格が2極化（上昇、下落）している。市内中心部のまとまった地積の土地（大画地）は依然として高い価格で取引されている。ホテル、マンション建設用地需要が強い。